

県政できごと ア・ラ・カ・ル・ト à la carte

こんなことが
ありました

4 おいしく育てね!

「つや姫」「雪若丸」田植えイベント(5月24日 山形市)

デビュー9年目を迎える「つや姫」と、今年本格デビューする「雪若丸」をPRするため、山形市立南山形小学校の5年生54名が、吉村知事と一緒に田植えを行いました。「つや姫」は、全国、そして世界で高い評価を受けています。「雪若丸」はしっかりとした粒感と適度な粘りが両立した新食感が特長で、秋のデビューに向け、期待が高まっています。これからも豊かな自然の中で育つ山形のおいしいお米をアピールし、消費の拡大につなげていきます。



5 交流拡大に向けて

山形-高雄(台湾)チャーター便運航(5月26日~30日 東根市・台湾)

文化交流・経済交流等の分野で友好協力の覚書を締結している台湾・高雄市との間で、互いの交流拡大につなげようと、山形空港と台湾の高雄空港を結ぶ初めてのチャーター便が運航されました。山形空港では、やまがた愛の武将隊や県内のゆるキャラなどが観光客を歓迎し、高雄空港では現地の伝統的舞踊による歓迎を受けました。台湾では、吉村知事が県産品や観光誘客拡大のためのトップセールスを行ったほか、一般ツアー参加者は観光を楽しみました。



1 「やまがた創生」のさらなる加速へ

「大石田村山IC-尾花沢IC」開通式(4月15日 村山市)

県民の期待を集め、東北中央自動車道の大石田村山IC-尾花沢IC間が開通しました。式典で吉村知事は、「本路線は、観光、物流、産業振興や災害時の緊急輸送など、本県の発展に不可欠な社会資本であり、地域の活性化や県民の皆さんの安全・安心な生活の実現のみならず、東北全体を元気にする。」とあいさつしました。今年度中に南陽高畠IC-山形上山IC間、東根IC-東根北IC間が開通予定です。今後も観光誘客や企業誘致などに引き続き取り組みます。



2 中国との交流活性化に向けて

第3回日中知事省長フォーラム(5月11日 札幌市)

「第3回日中知事省長フォーラム」が開催され、日本と中国から、来賓の安倍首相や中国の李克強首相をはじめ、関係する道県知事や省長などが参加しました。吉村知事は、「観光プロモーションと地方経済振興」をテーマに、おしんのふるさと山形、山形が誇る美食・美酒と温泉、メイド・イン・ヤマガタの工業製品などをPRしました。会議前日には、本県と友好県省である黒龍江省の王代理省長と面談し、双方の経済交流の発展に向けて協力していくことを確認しました。



3 「日本一美酒県 山形」を証明!

IWC2018「SAKE部門」やまがた開催(5月12日~20日 山形市ほか)

世界最大規模のワイン品評会「インターナショナル・ワイン・チャレンジ (IWC)」の日本酒部門の審査会が開催されました。本県は、都道府県別では最多となる3部門で最高位のトロフィーを、17銘柄で金メダルを獲得しました。金メダル受賞数は5年連続で全国一です。今回の開催を機に、より一層「日本一美酒県 山形」の名を世界へ発信し、輸出促進や販路拡大、さらにはインバウンドを含めた観光の誘客など地域経済の発展や交流人口の拡大につなげていきます。



にっこり

知事室!



北楯大堰は米どころ庄内平野の礎!
美しい水田風景が広がる庄内平野。「つや姫」のルーツ「亀ノ尾」は庄内町が発祥の地なんです。最上義光公の家臣、北館大学助利長公が狩川城主として赴任した400年ほど前、この地は荒地が広がっていたそうです。この地域では、最上川や京田川が周囲の土地より低く水が引けなかったのです。利長公は、水田が作れず困窮していた人々の暮らしを豊かにしたいと、10年もの歳月をかけて、立谷沢川から引水する方法を考えました。山沿いを切り開くなど、心血を注いだ難工事の末に「北楯大堰」が完成したことで、水路が次々と引かれ、庄内平野に多くの新田と集落が誕生しました。石高は従前の9倍に増えたそうです。庄内平野の礎を築いた利長公は、その功績を称えられ、水神様として「北館神社」にまつられています。狩川城跡の楯山公園から、利長公の銅像が、広大な美田と疎水の悠久の流れを見守り続けています。歴史の魅力を感ずる素晴らしい場所です。皆さんぜひ訪ねてみてくださいね。



北楯大堰は米どころ庄内平野の礎!

山形県知事 吉村 泰子